



パルシステム共済生活協同組合連合会

ごあいさつ

当会は、2008年の改定生協法の施行により、パルシステム生活協同組合連合会からの元受共済事業の事業譲渡を受け、パルシステムグループの10生協とパルシステム生活協同組合連合会を会員として2009年12月に発足し、現在に至っております。

当会は設立から17年目を迎え、保険代理業も開始から14年目に入りました。2018年度に策定した当会の『パルシステムの保障商品の考え方』に加え、2019年度には『保険代理業における組合員本位の業務運営方針』も策定し、2022年度には生命保険協会による「生命保険乗合代理店 業務品質評価運営」の認定を受け、生命保険協会のホームページに認定代理店として公表されました。2025年度も認定代理店として更新しています。引き続き、パルシステムで保障を「選ぶ」ことの意義を感じていただけるよう、CO・OP共済でサポートしきれなかった幅広いリスクに対して、組合員の要望に合わせて総合的に保障(補償)のご提案を進めて参ります。

共済事業では、2025年度末のCO・OP共済《たすけあい》の保有件数は40.5万件、共済掛金等収入は37.3億円、保険代理業では、2025年度末の保有件数は13.1万件、保険手数料収入は5.9億円に達しました。

組合員の暮らしへのお役立ちとして、2025年度の共済金のお支払い件数は7.2万件(前年比105.5%)、当会でのお支払い金額は15億円(前年比105.2%)となりました。今後もパンデミックや大規模災害も含めた共済金のお支払いを行うことにあたり、財務基盤をより一層強固なものにし、CO・OP共済《たすけあい》の元受団体としての責任をもち、保障を専業とする生活協同組合としての特徴を大いに発揮すべく経営を進めて参ります。

その他にも、2020年6月には、この理念に基づき『「たべる」「つくる」「ささえあう」ともにいきる地域づくり』をテーマとするパルシステムグループビジョン2030が総会で確認され、当会としては「ささえあう」の領域である、パルシステムグループ全体の「福祉・たすけあい」の分野について、これまで以上に主体的かつ積極的に取り組む所存でございます。

「ささえあう」の実現に向けた具体的な活動として、2025年度も引き続き、会員生協の組合員が地域で行うライフプランニング活動や子育て支援活動、福祉活動、健康維持活動に、当会の助成制度である「福祉・たすけあい助成金」について約693万円を拠出し、会員生協にて創意工夫し、74活動、6,635名の組合員・地域の方々にご参加いただきました。

さらに2021年度から地域福祉分野で活動するNPO団体等に助成する新たな助成金制度「ささえあい基金」も設立し、5年目の助成を迎え、16団体1,000万円の助成を決定しました。

コロナ禍でさらに浮き彫りとなった地域コミュニティの復権と格差社会の解消、高齢化社会への対応などは、地域に根差す生活協同組合として避けては通れない重要な課題です。SDGs(持続可能な開発目標)の理念である「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、事業と活動を通じて、今後も地域社会に求められる組織となれるよう、社会的使命を果たして参ります。



pal*system

パルシステム共済生活協同組合連合会
代表理事 理事長 渋谷 温之



パルシステムグループについて

理念

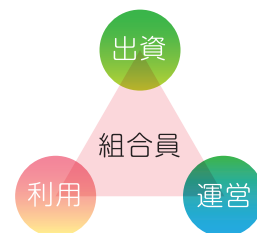
心豊かなくらしと共生の社会を創ります

パルシステムグループは、首都圏を中心とした1都12県の地域生協とパルシステム生活協同組合連合会（以下、パルシステム連合会と略）・パルシステム共済生活協同組合連合会（以下、パルシステム共済連と略）とその子会社を中心に構成されており、食を中心とした商品の供給事業、共済・保険事業、福祉事業、電力事業などを展開しています。

※共済・保険事業は1都11県で展開しています。

消費生活協同組合（生協）とは…

生協は「営利を目的としない協同組織」であり、組合員の自主的な団体で、自分たちの生活を守り、向上させるための組織です。経営（運営）は、組合員みなで出したお金（出資金）で行われ、そのお金で商品を買入れ、分け合うこと（利用）で成り立っています。つまり生協とは、株主であり経営者でありユーザーでもある「組合員」の組織ということになります。



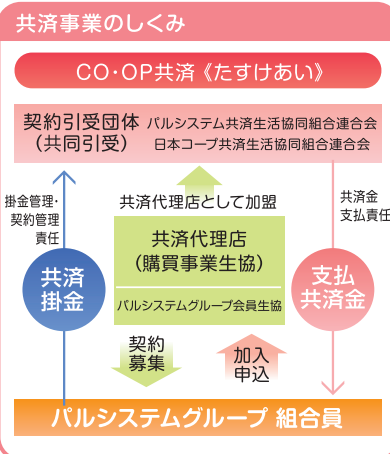
パルシステム共済生活協同組合連合会の概要

パルシステム共済連は、消費生活協同組合法の改定に伴い、パルシステム連合会が行っていた共済事業を引き継ぎ、2009年に設立しました。

パルシステム共済連では、CO・OP共済《たすけあい》について、日本コープ共済生活協同組合連合会（以下、日本コープ共済連と略）と元受共済事業を行っています。併せて、2013年より、団体保険を中心とした保険代理事業を開始したことで、CO・OP共済でサポートしきれなかった幅広いリスクに対して保障商品をご提案できるようになりました。パルシステム共済連は、契約者の立場に立った事業運営及び健全経営に徹する事を基本に据え、保障事業を通じて、けがや病気という万が一の時に、「組合員のお役に立つこと」を目指します。

パルシステム共済連「2020年代の10年間でめざすもの」

- 暮らしのリスクに対し、組合員が安心して相談でき、信頼される存在になります
- CO・OP共済《たすけあい》の普及に取り組み、将来の制度的発展を展望します
- 地域社会の課題に対し、組合員が参加を実感できる活動により、たすけあいへの共感の輪を広げます
- パルシステムグループの福祉・たすけあい活動の一翼を担い、様々な団体との連携により課題を解決します
- 保障事業の担い手が仕事への誇りとやりがいを持ち、健全で安定的な事業運営を行います



「人権方針」の策定

パルシステム共済連は、2026年2月、当会で働く全ての役職員の人権が尊重され、また当会が事業・活動を行うにあたりすべてのステークホルダーに対して人権を尊重する環境を構築するため、当会独自の人権方針を策定し、ホームページへ掲載しています。共済専業協同組合としての社会的要請（社会的期待、社会的役割）を果たすにあたって、当会は「人権侵害に関するコンプライアンス」を重要視しています。

パルシステム共済連 ウェブサイト
<https://www.palsystem-kyosai.coop/organization/kyousairen/>

パルシステム共済連 組織情報

検索

パルシステムグループ理念（心豊かなくらしと共生の社会を創ります）

2030ビジョン（「たべる」「つくる」「ささえる」とともにいきる地域づくり）
 「2020年代の10年間でめざすもの」

行動規範

人権方針

（人権侵害に関するコンプライアンス（社会的要請に応えること）を重視）



《たすけあい》の輪が、どんどん広がっています

パルシステム共済連の事業の概要

主要な事業

組合員同士の相互扶助と地域におけるたすけあいの仕組みを創造する事業として、以下の5つの事業を展開しています。

- | | | |
|----------|-------------------|--|
| 1 | 共済事業 | 日本コープ共済連との共同引受による元受共済事業及び会員からの共済事務受託事業 |
| 2 | 地域の福祉を増進する活動 | 福祉活動の発展に寄与するための助成活動 |
| 3 | ライフプランニング活動等の教育事業 | 保障相談及びライフプランに基づく保障設計に関する事業 |
| 4 | 保険代理に関する事業 | 会員及び会員の組合員に対して行う保険代理に関する事業 |
| 5 | 異常災害見舞金事業 | 地震・津波または噴火を原因とした共済契約者または被共済者の居住している住宅の損害に関し、規定により見舞金を支払う事業 |

パルシステム共済連の事業活動について

1 共済事業

保障とは、掛金を出し合い、集まった掛金で、実際に困った方を金銭面でサポートする手立てです。組合員同士が助け合うというパルシステムが大切にしているコンセプトと合致しており、くらし課題解決の一つの手法としてパルシステムグループ全体で協力して組合員におすすめています。

CO・OP共済《たすけあい》は、組合員相互の助け合いによって組合員のくらしの経済的リスクに対応する制度です。「助け合うこと」の大切さを伝え、加入者の輪を広げることで、組合員のくらしに必要な保障を、より良い内容と手ごろな掛金で実現しています。また、生協らしい取り組みとして、組合員が共済金の請求忘れをなくすために「請求忘れゼロ運動」に取り組んでいます。

2025年度CO・OP共済《たすけあい》の保有件数は40.5万件となりました。共済掛金等収入は37.3億円(前年比101.8%)、支払共済金については15億円(前年比105.2%)となり、組合員のお役に立つことができました。

2 助成活動について

パルシステム共済連では、保障事業の剰余を契約者へお返しするだけでなく、よりよい地域社会の構築に向けて、「福祉・たすけあい助成金」と「ささえあい基金」という、2つの助成金制度を運営しています。

福祉・たすけあい助成金は、組合員が地域で行う子育て支援や高齢者・障がい者支援といった福祉活動、ライフプランニング活動、健康維持活動を対象としています。2025年度は会員生協の組合員による74活動に対して約693万円を助成しました。

ささえあい基金は、生活困窮者や社会的孤立者への支援活動等を地域で行う市民団体やNPO法人の活動を対象としています。2025年度は16団体に対して1,000万円の助成を決定しました。



3 ライフプランニング活動について

ライフプランニング活動とは、くらしのお金に関わる基礎知識を他の組合員へ伝える活動のことで、2級FP技能士レベルの知識をもつLPA(ライフプラン・アドバイザー)が中心となり、組合員を対象とした学習会はもとより、お子様への金銭教育など幅広い取り組みを行っています。

パルシステム共済連では、多様性を尊重したライフプランニング活動を目指しており、5会員生協9名のLPAによるタスクチームを結成し、2021年度よりひとり親や離婚を考えている方を対象とした新しい取り組みにチャレンジしています。

2025年度は会員生協と、ひとり親応援団体と連携し、ひとり親向けの学習会「ひとり親家庭の教育費」を開催しました。

また、会員生協が連携している予備青果支援と連動させ、NPO法人しんぐるまざあずぶいおーらむが発行する教育費サポートブックをひとり親へ配布する活動を開始し、パルシステムの全エリアで1,540冊を配布しました。

(LPA:日本コープ共済連が実施する「LPA養成セミナー」を修了する等、一定のライフプランニングに関する知識を習得した組合員・職員)



パルシステム ライフプランニング活動指針



4 保険事業

2013年4月より子会社である株式会社パルふれあいサービスの組合員向けの保険代理店業務を引き継ぎ、開始から14年目になりました。パルシステムオリジナルの団体保険や、組合員であれば割安な保険料となる集団扱契約の保障商品等を中心に、保険代理事業における契約件数は13.1万件となりました。

2022年度には生命保険協会による「生命保険乗合代理店 業務品質評価運営」の認定を受け、2025年度も認定代理店として更新し、生命保険協会のホームページに公表されています。引き続き、パルシステムで保障を「選ぶ」ことの意義を感じて頂けるよう、CO・OP共済でサポートしきれなかった幅広いリスクに対して、組合員の要望に合わせて総合的に保障（補償）のご提案を進めて参ります。

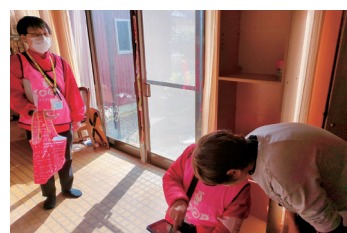


5 その他の取り組み

災害時お見舞い訪問活動

CO・OP共済《たすけあい》（ジュニアコースを除く）加入者の住宅が火災や風水害等で被害を受けた場合、「住宅災害共済金」をお支払いしています。また、CO・OP共済の加入者が所有する住宅が地震・津波・噴火により被害を受けた場合には異常災害見舞金規則に基づく「異常災害見舞金」をお支払いしています。災害時には全国の生協と協力しながら、被災地区の加入者への電話かけと加入者宅への訪問活動を行い、お見舞いの気持ちを伝えるとともに、迅速な共済金・見舞金のお支払いを心がけています。

2024年1月に発生した「令和6年能登半島地震」では石川県だけでなく、パルシステムの事業活動エリアで被害のあった新潟県でも訪問活動に取り組みました。

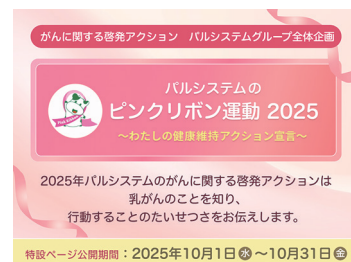


令和6年能登半島地震での訪問活動

がんに関する啓発アクション

パルシステムグループでは、がんに関する啓発アクションとして、「全ての組合員向けのパルシステムグループ全体企画」、「各地域の組合員向けのエリア開催企画」、「職員や組合員理事等向けの内部学習会」の3つのアクションに取り組んでいます。

2025年度のパルシステムグループ全体企画では10月にピンクリボン運動として特設サイトを開設し、乳がんの知識提供・セルフチェック・検診の3つのアクションを促進しました。3,100件の健康維持アクション宣言が集まり、うち30%が乳がん関連の具体的な行動を宣言。宣言1件100円として最大20万円を日本対がん協会の「ほほえみ基金」に寄付しました。



ささえあい基金支援団体を応援する取り組み

ささえあい基金で助成している、生活困窮者等へ支援を行う団体の活動を2022年度より広報誌「びいあらいぶ」で組合員へ紹介しています。また、組合員より団体への応援メッセージを募集し、毎回200通ほど集まります。集まった応援メッセージを団体へお届けし、組合員と団体を繋げることで、団体からも活動の励みになると喜ばれる取り組みになっています。



団体の活動紹介&応援メッセージを募集

社会的課題への取り組み

パルシステム共済連では、パルシステム連合会や他団体と連携し、震災復興支援、脱原発、反TPP、社会保障制度（特に介護保険制度）など社会的課題に、生活者のくらしを守る立場で取り組んでいます。

2025年度は、福島復興支援と、奨学生への支援の取り組みとして、CO・OP共済《たすけあい》新規加入実績1件に対し、50円（実績33,148件、1,657,400円）を「原発事故被災者応援金」と「パルシステム若者応援基金」へのカンパとして役立てました。





安定した基礎づくりに、たゆまぬ努力を続けています

パルシステム共済連の事業と経営の概況

財務の概況

総資産は**92.3億円**、純資産は**56.5億円**となりました。

関係団体等出資金 **5.6億円**

資 産

92.3億円

現金及び預金 **78.7億円**

その他 **8億円**

負債と純資産

92.3億円

負債 **35.7億円**

うち共済契約
準備金
28.1億円

純資産 **56.5億円**

うち会員出資金20.0億円、
剰余金36.5億円

損益の概要

収 入

その他の収入 **6.3億円** (うち保険手数料収入5.9億円)

共済掛金等収入 **37.3億円**

費用及び剰余金

税引前当期剰余金 **9.0億円**

当期剰余金 **1.7億円**

共済金等支払額 **21.9億円**

事業経費 **19.0億円**

その他の費用 **0.6億円**

法人税その他 **0.6億円**

割戻準備金繰入額 **6.6億円**

剰余金処分

単位:千円

科 目	金 額
I 当期未処分剰余金	672,118
II 剰余金処分額	386,105
1.出資配当	30,001
2.任意積立金	
(1)事業継続積立金	150,000
(2)財務基盤強化積立金	150,000
(3)異常災害見舞金積立金	35,000
(4)ささえあい基金積立金	10,000
(5)災害等支援積立金	843
(6)事業推進強化積立金	10,260
III 次期繰越剰余金	286,013

支払余力比率

単位:万円

項 目	当年度
支払余力総額(A)	707,358
リスクの合計額(B)	59,561
支払余力比率(C)=(A)÷{(B)×1/2}×100	2375.2%

※「消費生活協同組合法施行規則並びに施行規程」に定める方法に準じて算出しており、上記比率は200%以上必要とされています。

※生命保険会社、損害保険会社のソルベンシーマージン比率とは単純に比較はできません。



しっかりした組織で、組合員のくらしを支えます

パルシステム共済連の組織概要

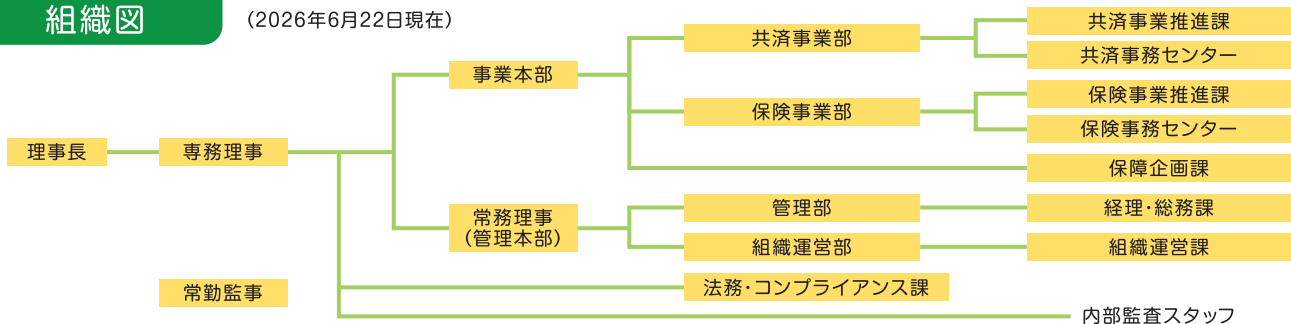
組織概要

(2026年3月31日現在)

設立年月日	2009年12月18日
会員	パルシステム東京、パルシステム神奈川、パルシステム千葉、パルシステム埼玉、パルシステム茨城 栃木、パルシステム山梨 長野、パルシステム群馬、パルシステム福島、パルシステム静岡、パルシステム新潟ときめき、パルシステム連合会(11会員)
元受共済加入者数	405,015人
区域	東京都/神奈川県/千葉県/埼玉県/茨城県/栃木県/山梨県/長野県/群馬県/福島県/静岡県/新潟県
本部所在地	〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目2-6
会員出資金	2,000,100千円
職員数	59人

組織図

(2026年6月22日現在)



役員一覧

(2026年6月22日現在)

役 名	氏 名	略 歴 等
代表理事 理事長	渋 澤 温 之	パルシステム生活協同組合連合会 代表理事 理事長
代表理事 専務理事(常勤)	室 崎 正 徳	
常務理事(常勤)	吉 野 秀 展	
理 事	青 木 恭 代	生活協同組合パルシステム茨城 栃木 代表理事 理事長
//	網 野 拓 男	生活協同組合パルシステム神奈川 代表理事 専務理事
//	池 端 美 雪	生活協同組合パルシステム福島 代表理事 理事長
//	志 村 宏 司	生活協同組合パルシステム静岡 代表理事 専務理事
//	杉 原 学	生活協同組合パルシステム東京 代表理事 専務理事
//	関 英 昭	(員外)青山学院大学名誉教授
//	瀬 野 悦 子	生活協同組合パルシステム新潟ときめき 代表理事 理事長
//	高 橋 成 秀	生活協同組合パルシステム群馬 代表理事 専務理事
//	高 橋 由 美 子	生活協同組合パルシステム千葉 代表理事 理事長
//	西 内 良 子	生活協同組合パルシステム埼玉 代表理事 理事長
//	古 家 滋 子	生活協同組合パルシステム山梨 長野 代表理事 理事長
常 勤 監 事	亀 山 裕 二	
監 事	荒 川 美 作 保	生活協同組合パルシステム神奈川 監事
//	飯 島 康 央	(員外)弁護士
//	國 領 俊 文	生活協同組合パルシステム東京 常勤監事
//	廣 瀬 達 也	(員外)公認会計士・税理士

子法人の概要

法人名	株式会社パルふれあいサービス
主たる事業所(事務所)の所在地	〒169-0072 東京都新宿区大久保2-2-6
設立年月日	1989年 12月28日
資本金	30,000千円
代表者名	室崎 正徳
事業内容	保険代理業
決算月日	3月31日
事業実績(手数料収入)(2026年3月31日現在)	185,467千円
当会の持株(出資)比率(%)	60.9%

パルシステム共済連で取り扱う保障商品について

共済商品



手頃な掛金で、入院・ケガ通院など幅広く保障。家族みんなの基本保障です。

子どもの保障

ジュニアコース

子どもの病気やケガの保障が充実しています。
(加入条件がゆるやかなコースもございます)
お誕生前の赤ちゃんも、子ども向けのJ1000円コースに
申し込めるようになりました。

※ご加入には一定の条件があります。お誕生前の申し込みについて詳しくは、お誕生前申し込み専用サイトをご覧ください。

病気やケガの保障

大人向けコース・ 告知緩やかコース

入院・手術・ケガ通院等、医療保障が充実しています。

《たすけあい》契約引受団体／パルシステム共済生活協同組合連合会・日本コープ共済生活協同組合連合会



10年満期の生命・入院・がん
に備える保障です。



満65歳から満70歳の方向け、
満85歳まで続く保障です。



掛金は加入時のままで保障が
一生続きます。



学生生活に必要な保障を総合的
にサポートします。

《あいふらす》《ずっとあい》《学生総合共済》契約引受団体／日本コープ共済生活協同組合連合会



万が一に備える「住まい」と「家財」の保障です。



手頃な掛金で事故時にも安心の
サポート体制を備えています。



5年満期の満期金付生命
保障です。

《火災共済》《マイカー共済》《新あいあい》契約引受団体／全国労働者共済生活協同組合連合会(こくみん共済 coop)
取扱団体／日本コープ共済生活協同組合連合会

d90-89405-2605



<CO・OP共済に加入するには>

出資金をお支払いいただき、お近くの生協の組合員になることが必要です。
生活協同組合(生協)は、お店や宅配などでくらしに貢献しています。

※詳しくは、商品パンフレットをご覧ください。

K-89405-2605

保険商品(取扱保険会社)

生命保険



ア フ ラ ッ ク 生 命



オ リ ッ ク ス 生 命

SOMPOひまわり生命保険株式会社

S O M P O ひ ま わ り 生 命



東 京 海 上 日 動 あ ん し ん 生 命

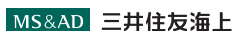


三 井 住 友 海 上 あ い お い 生 命

損害保険



東 京 海 上 日 動 火 災



三 井 住 友 海 上

損害保険ジャパン株式会社

損 保 ジ ャ パ ン



共 栄 火 災



ア ニ コ ム 損 保

<お問い合わせ窓口>

パルシステム共済生活協同組合連合会

共済商品の
お問い合わせ



コープ共済センター

0120-50-9431

受付時間: (月~土)9:00~18:00

保険商品の
お問い合わせ



<募集代理店><取扱代理店>
保険事業部

0120-201-342

受付時間: (月~金)9:30~17:00